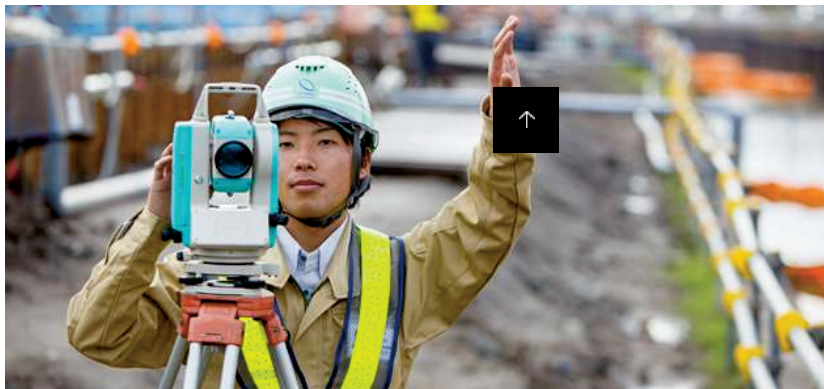




多くの人たちの生活を支える土木工事  
安心して暮らせる社会作りの一端を担う

土木事業本部 土木部 工事課  
**安藤 恭平**  
2013年4月 入社  
環境都市工学専攻 卒

## 私の仕事



私は工事現場の施工管理を担当し、主に写真管理と測量、安全管理の業務を行っています。些細なミスも大きな作業のやり直しの原因になりかねないので、どんな小さな計算でも必ず関数電卓で計算して野帳にペンで記録、写真に収めることを心がけています。

## 志望動機

小さな頃からものづくりが好きでした。学生時代に土木の分野について学び、総合建設会社（ゼネコン）という、まさにものづくりそのものを体現している業態があることを知ったことが、最初にこの業界へ興味を持ったきっかけです。そしてその後本間組でインターンシップを経験した際に「自分が過去に作ったものが今でも多くの人に利用してもらえるし、地図に載っているのを見ると誇らしく思うよ」と社員の方が語ってくれた仕事に対するやりがいに、強い憧れを抱きました。その時から、「自分もこの仕事に就こう！」そう決意しました。

## 仕事内容

## これまでの経歴

2013年4月

入社、土木事業本部 土木部へ配属  
離岸堤築造工事に従事

2013年9月～11月

防波堤上部工工事に従事

2013年11月～2014年2月

港湾浚渫（海底の土砂を掘削する）工事に従事

2014年3月

河川付替工事に従事

## わたしのある1日

7:30 事務所へ入社 現場巡回、当日準備

8:00 朝礼、安全巡回、測量、工事写真の撮影など

12:00 昼食・休憩

13:00 協力業者と翌日作業の打ち合わせ



上司が長いスパンでみた工事全体の管理をするので、私は明日・明後日という短いスパンでの段取りを行います。具体的には、協力業者の方と相談しながら、次の作業で使う測量杭や丁張の設置、必要な資材やクレーン、バックホウといった機械の配置計画や作業手順を決めていきます。また発注者の方やコンサルタントの方が訪問した際の現場対応や、近隣住民への工事説明などもします。一番関わりが多いのは、自分よりも年上のベテランの協力業者の方々です。一つのものを完成させる

ために多くの人と関わるので、それぞれの場面で求められる知識や話し方も変わってきますし、判断のスピードも問われてきます。1日として同じことの繰り返しになるような日はありませんね。

## 求められる能力



現場では老若男女、多くの人と一緒に作業をするので、コミュニケーション能力が求められます。そこで私は、全員が同じ方向に向かって一緒に作業できるよう、自分の考えを自分の言葉で伝え、理解してもらうことを意識しています。例えば、何も考えずに上司に言われたことをそのまま作業員に伝えたとしたら、不測の事態が起こった時に、的確な判断ができません。現場では予測できないことが起こる可能性があるので、細かな作業にしても一つひとつ自分の考えを持つことは大切です。

まだ2年目で分からないことがたくさんありますが、それらを上司や協力業者の方に分からないと素直に伝えて教えてもらい、知識を増やしていくことも大切だと思っています。

## やりがい

なんといっても、川を作ったことですね。この工事は大きな規模で、地図にも残ります。鋼矢板という長さ10m、幅90cm程の鉄の板を500枚以上つなげて地面に打ち込んで作りました。自分が管理したものがどんどん目に見える形になっていき、それを現在の川と合流させた時は大きな感動と達成感、喜びが湧き上がりました。鋼矢板には枚数確認のための番号をスプレーでつけますが、最後の板へのマーキングは誰にも譲りませんでしたね！

一方で辛いこともあります。就職して一年目は海での工事に従事していましたが、それまでの人生で船に乗った経験は数える程。仕事で毎日船に乗るようになって、船酔いに変な悩みが生まれました。帰宅して横になると天井がゆらゆらと揺れているような感覚になるのです。酔い止めの薬を飲み、何度も乗船するうちになんとか慣れることができました。土木工事は、多くの人たちの生活を支えるインフラ整備や防災関連のものがほとんどなので今まで携わった仕事全てにおいて、安心して暮らせる社会作りの一端を担っているという誇りを感じています。

15:00 現場巡回、作業進捗確認

17:00 その日の安全書類や工事写真の整理、翌日の計画、上司に疑問点を質問

19:30 帰宅

20:00 夕食（できるだけ自炊）後、二級土木施工管理技士の資格勉強

22:00 就寝

## OFFショット



学生時代からフットサルをずっと続けています。会社有志のチームに所属して大会などに出ています。写真は夏に参加したビーチサッカーの様子です。



「人に利用してもらえて地図に残るものを作ること」が入社当時の私の目標です。一年目に手がけた仕事は大規模な構造物ですが海の工事。現在の仕事も川を作るという大きな業務ではありますが仮設構造物のため数年後には無くなってしまいます。これからも経験を積んでいつか地図に残るものを作り、実際に人が利用しているところを見てみたいです。

また、日常の業務では分からないことが出てきた時に最初から上司に相談するのではなく、自分なりの対処方法・答えを持った上で相談をし、その方策が最適かどうかを確認することを心がけています。そうやって一步一步確実にスキルアップし、成長していきたいと思っています。

## 学生へのメッセージ



就職活動中は「この業種は自分に向いているのだろうか」「自分の知識でやっていけるだろうか」と色々不安に思うこともあると思います。実際に本間組に入社してみて、私が最初に配属された現場は海。学校で習っていないことも多く、海や船に関する知識も求められました。しかし、新入社員は分からなくて当たり前。そんな時、上司や作業員の方に聞いて教えてもらい、覚えることで仕事をやり遂げることができました。本間組の社員はみんな仕事に真面目で、情熱がある人ばかりです。素直な気持ちで質問して理解に努めれば、きちんとやっていけるので安心してください。


### 土木系の先輩

	土木系	施工管理
安藤 恭平		
2013年4月 入社 環境都市工学専攻 卒		

	土木系	設計
神蔵 昌士		
2005年4月 入社 工学部 建設学科 卒		

	土木系	施工管理
高塚 慶		
1994年4月 入社 海洋学部 船舶工学科 卒		

### 建築系の先輩

	建築系	施工管理
八子 尚也		
2011年4月 入社 工学部 建築学科		

	建築系	設計
南雲 裕貴		
2005年4月 入社 工学部 建設学科 卒		

	建築系	施工管理
古澤 聡		
1994年4月 入社 工学部 建築学科 卒		

### 事務・営業系の先輩

	事務系	管理
佐々木 寛文		
2013年4月 入社 文学部 文学科 卒		

	営業系	営業
水倉 完		
2000年4月 入社 経済学部 経済学科 卒		

	事務系	経理
中川 和俊		
1996年4月 入社 法学部 政治学科 卒		



[プライバシーポリシー](#) [お問い合わせ](#)

株式会社本間組 2016 新卒採用情報

Copyright HONMA Corporation. All Rights reserved.